

北海道観光の基礎データ

北海道観光の基礎データ(観光入込客数)

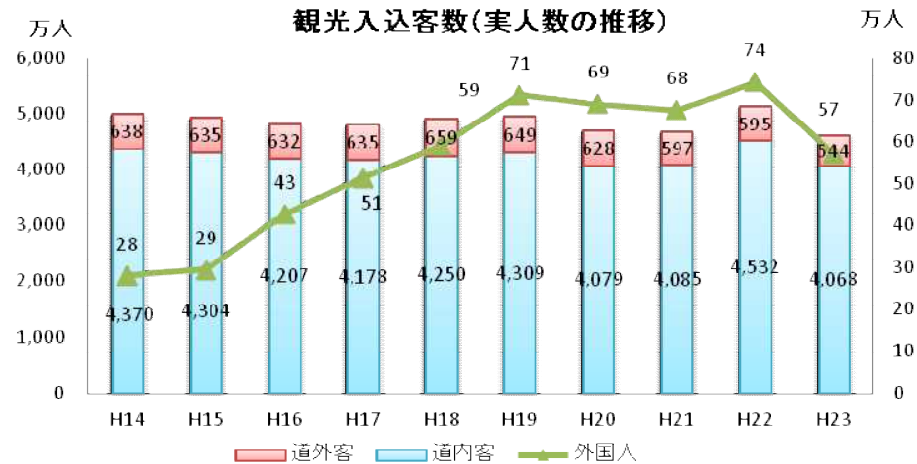
観光入込客数のうち、約9割が道内容、道外客は1割。外国人観光客は1.2%。

平成23年度の観光入込客数は、4,612万人となった(前年度比90.0%)。

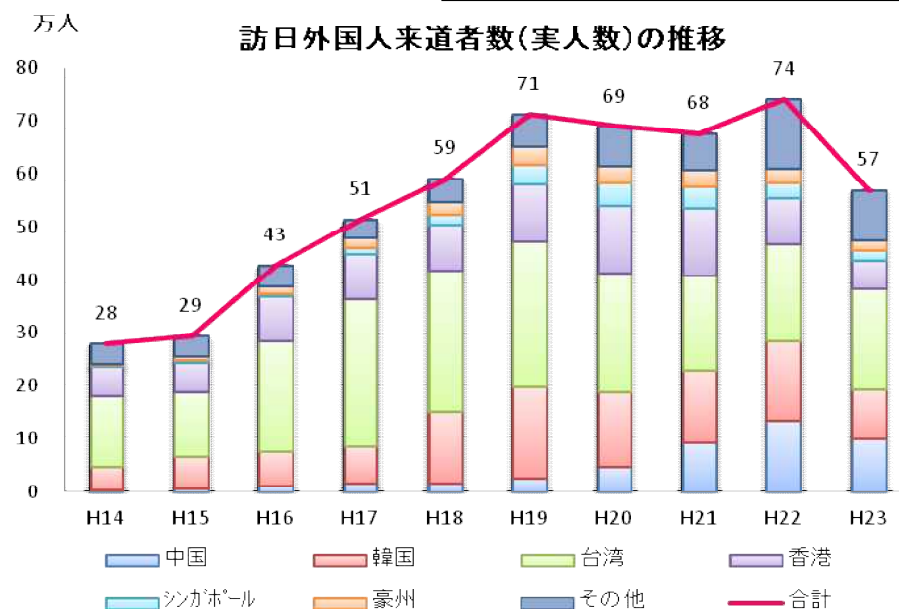
平成23年3月の東日本大震災等の影響による国内外の観光需要の落ち込みが大きく、修学旅行先の道内への振替えや、避暑目的の長期滞在客の増加などの増加要因があったものの、第1四半期は前年度比20.9%、第2四半期は11.9%の大きな減少となった。その後、自粛ムードの緩和などから回復が進み、第3四半期には概ね前年度並の水準に戻りましたが、通年では10.0%の減少となった。

平成23年度の訪日外国人来道者数は、56万9,700人となった(前年度比76.8%)。

東日本大震災や原発事故の影響により、第1四半期及び第2四半期はそれぞれ前年度比61.6%及び37.3%の大幅な減少となったが、第3四半期には台湾が前年度を上回るなど、台湾が全体の回復を牽引する中、その他の国・地域も回復が進み、第3四半期には全体として概ね前年度並みの水準に戻ったが、通年では前年度に比べて23.2%の大きな減少となった。



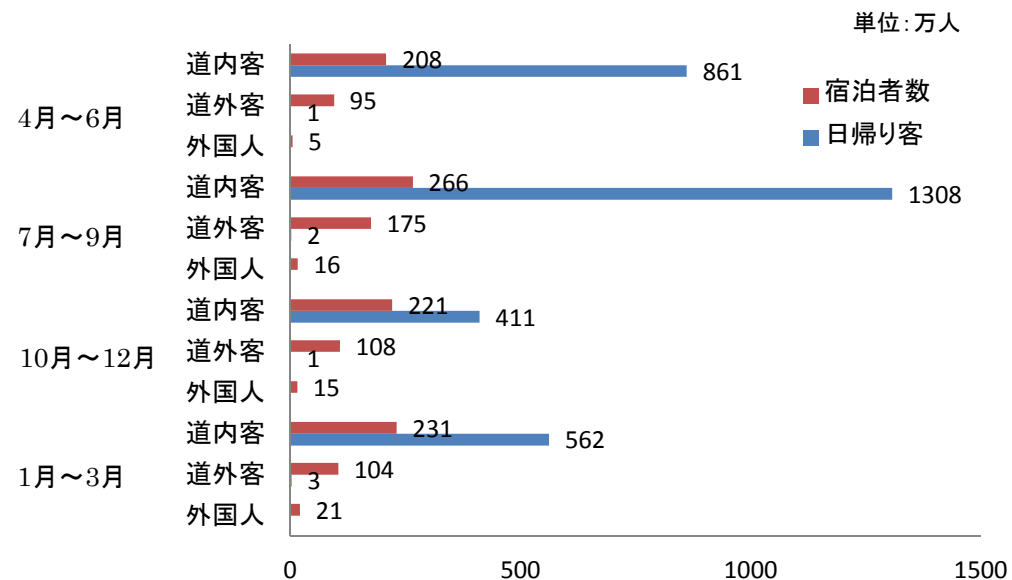
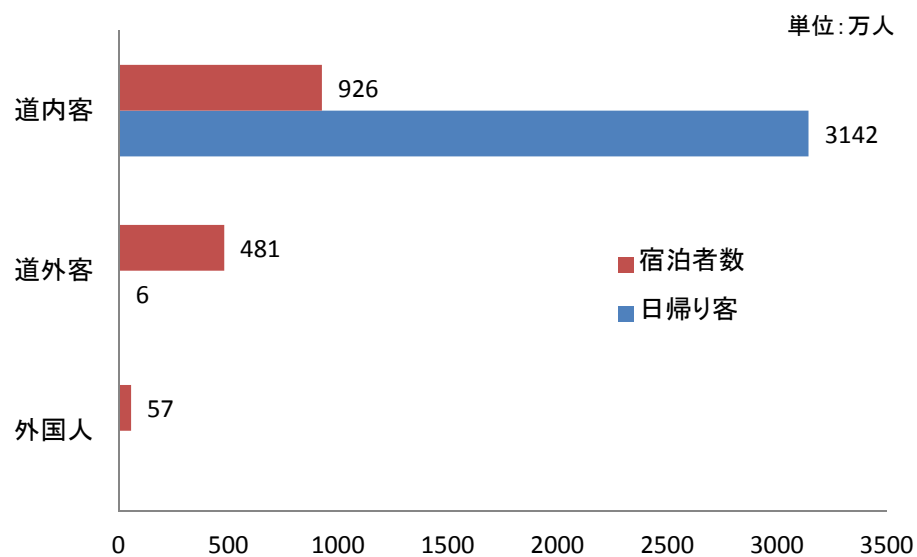
出典: 平成23年度 北海道観光入込客数調査



出典: 平成23年度 北海道観光入込客数調査

観光入込み客数のうち、宿泊客は約3割。7割が日帰り客。

■北海道の観光入込み客数 4,612万人(H23)
 うち 宿泊客 1,464万人(31.7%)日帰り客 3,148万人(68.3%)



出典: 平成23年度 北海道観光入込客数調査

北海道観光の基礎データ(宿泊者数)

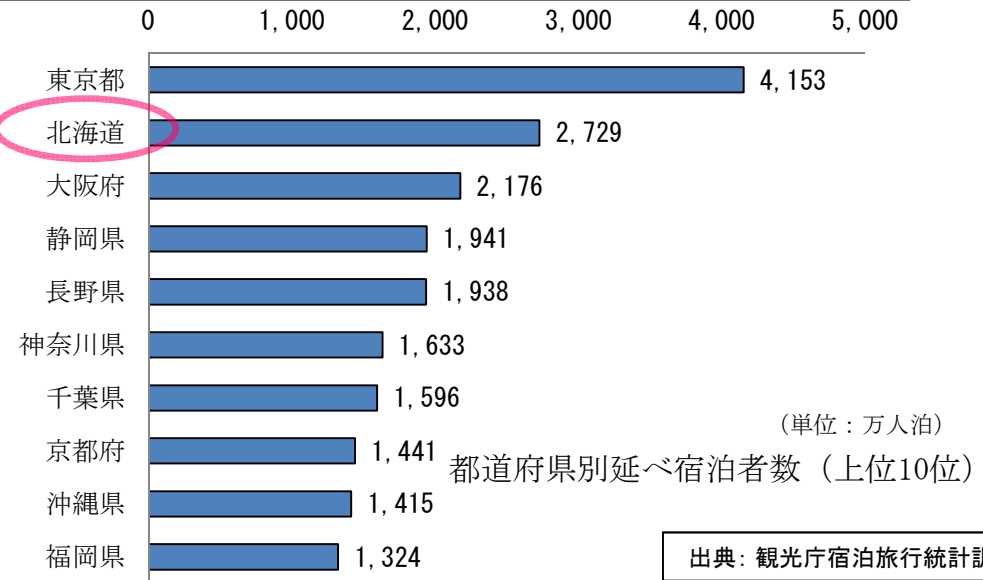
北海道の延べ宿泊者数は、2,729万人泊(全国の6.5%)。うち、外国人の割合は5.8%。

■延べ宿泊者数(H23)

- ・全国の延べ宿泊者数は41,723万人泊、北海道の延べ宿泊者数は2,729万人泊(全国の6.5%)
- ・都道府県別延べ宿泊者数、第1位は東京都、第2位は北海道、第3位は大阪府。

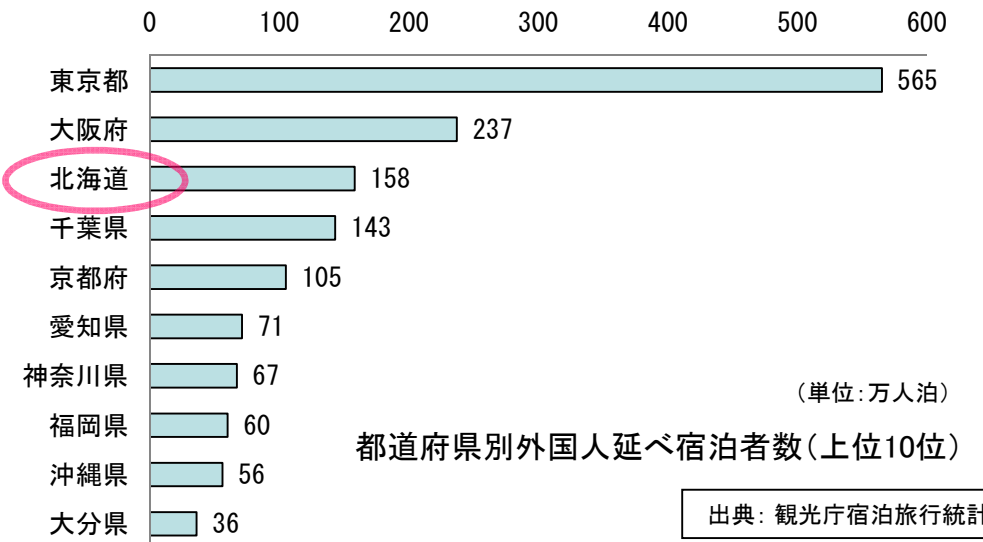
■全国に占めるブロック別延べ宿泊者数割合 注

関東25.5%、近畿14.0%、北海道6.5%(ブロック7位)
 (注:ブロック区分 北海道、東北、関東、北陸信越、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄)



■延べ宿泊者数(H23)

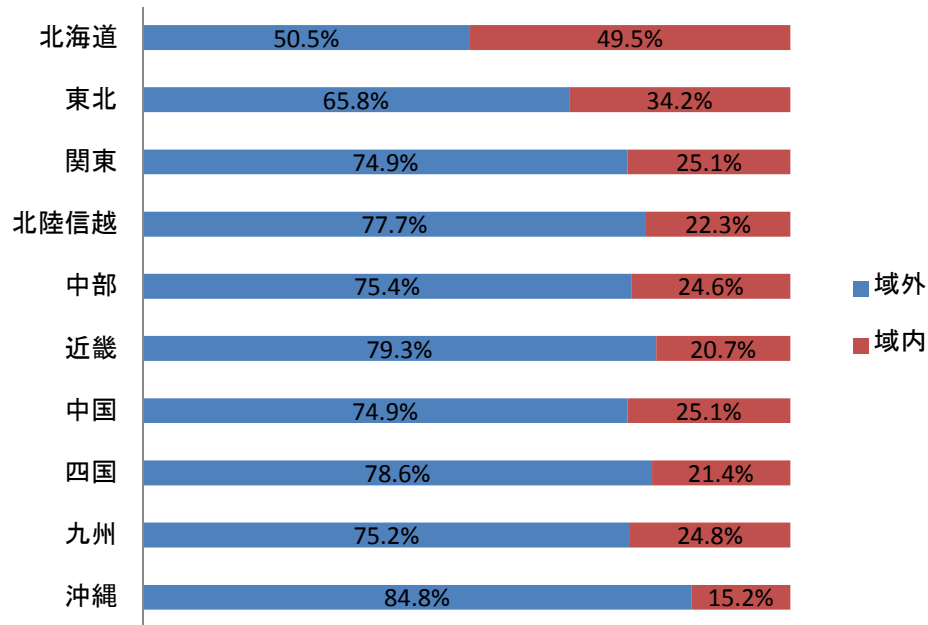
- ・全国の外国人延べ宿泊者数は1,842万人泊、北海道の外国人延べ宿泊者数は158万人泊(全国の8.6%)
- ・都道府県別外国人延べ宿泊者数、第1位は東京都、第2位は大阪府、第3位は北海道



北海道観光の基礎データ(宿泊者数)

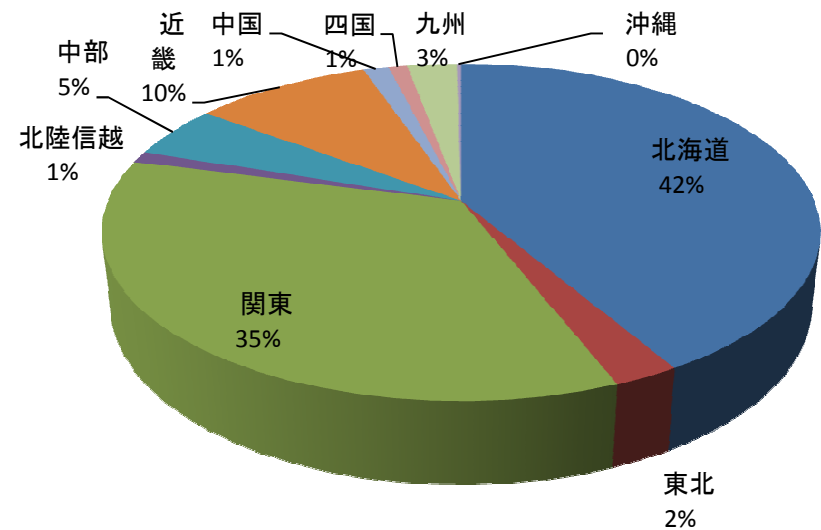
発地別宿泊者割合(H23)をみると、北海道は、ブロック域外からの宿泊者割合が一番低い。
 (高いブロック、1位沖縄、2位近畿、3位四国) ※ブロックは、運輸局単位

【発地別宿泊者割合】



出典：観光庁宿泊旅行統計調査

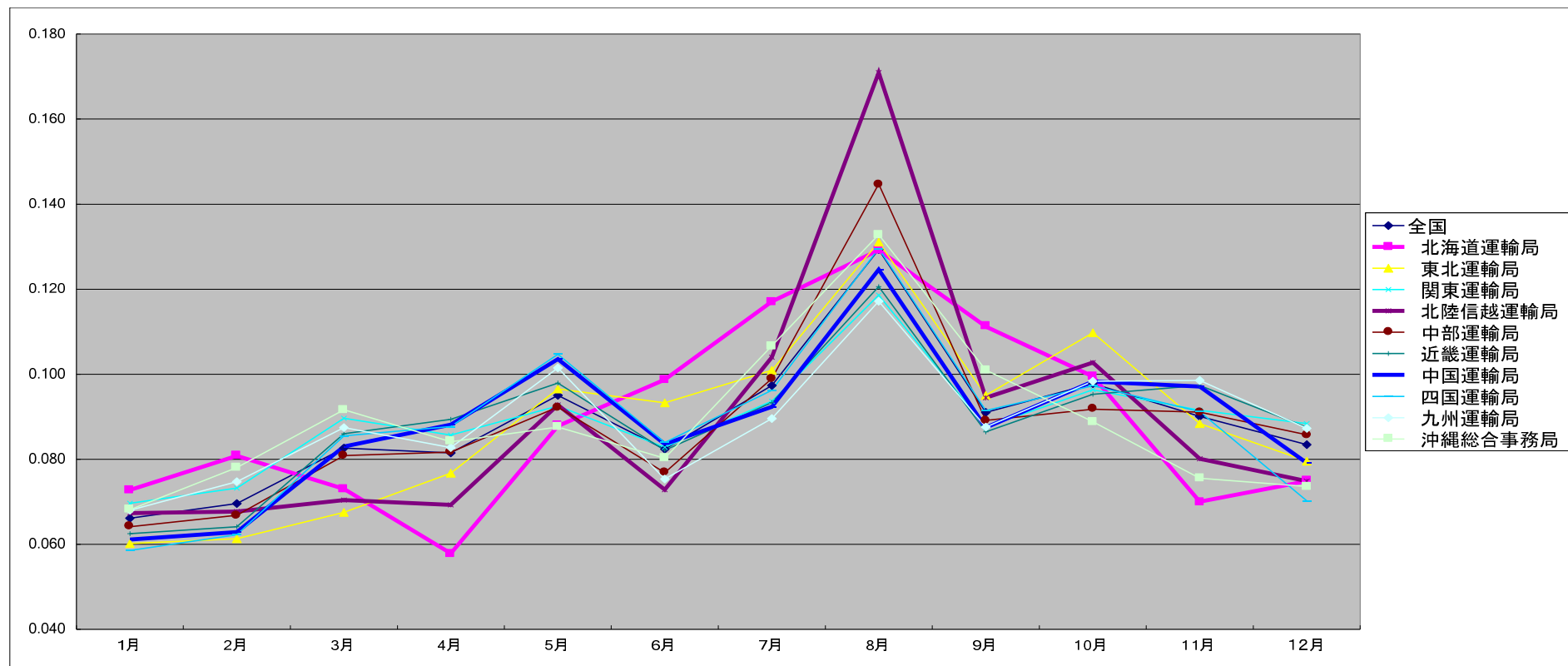
【北海道域内】



出典：観光庁宿泊旅行統計調査

北海道観光の基礎データ(ブロック別の季節変動の実態)

宿泊ベースで北海道の季節変動をみると、北海道は北陸信越ブロックに次いで、季節変動が激しい。8月がピーク期、4月・11月がオフピーク期



(ブロック毎の総延べ宿泊者数に占める各月の宿泊者数の割合の標準偏差)

北海道0.0209、東北0.0199、関東0.0117、北陸信越0.0279、中部0.0196、
近畿0.0147、中国0.0165、四国0.0184、九州0.0129、沖縄0.0170、全国0.0155

出典：観光庁宿泊旅行統計調査

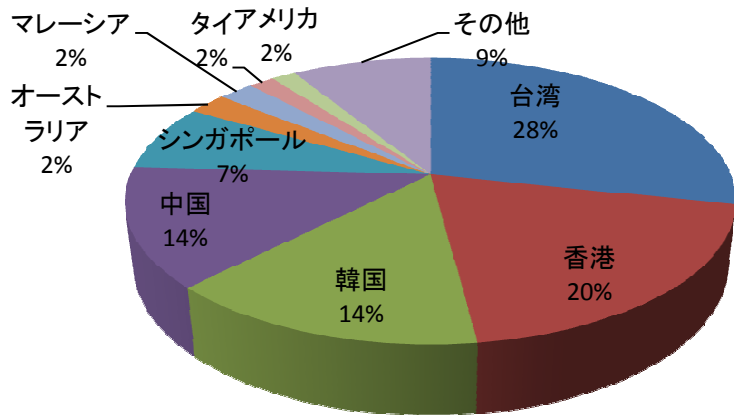
* 標準偏差は、統計値や確率変数の散らばり具合(ばらつき)を表す数値のひとつ。数値が大きいほどばらつき度合いが大きいことを示す。

北海道観光の基礎データ(外国人観光客の割合)

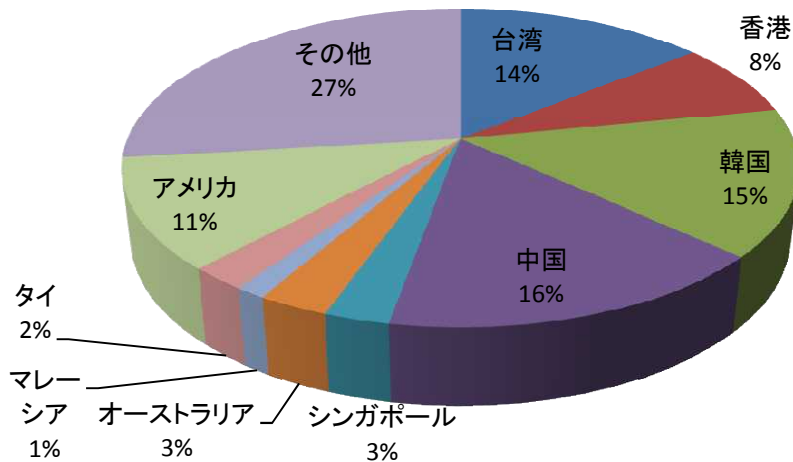
北海道の外国人延べ宿泊者の国・地域別の内訳(H23)をみると、台湾28.3%、韓国14.4%、中国13.5%、香港19.6%、シンガポール7.5%

- 外国人延べ宿泊者数(全国のH23国地域別割合):台湾14.2%、韓国15.0%、中国16.0%、香港7.6%、シンガポール2.6%
- 台湾については、未だシェアは最大だが、マーケットの成熟化等の影響か、近年、宿泊者数は減少傾向。

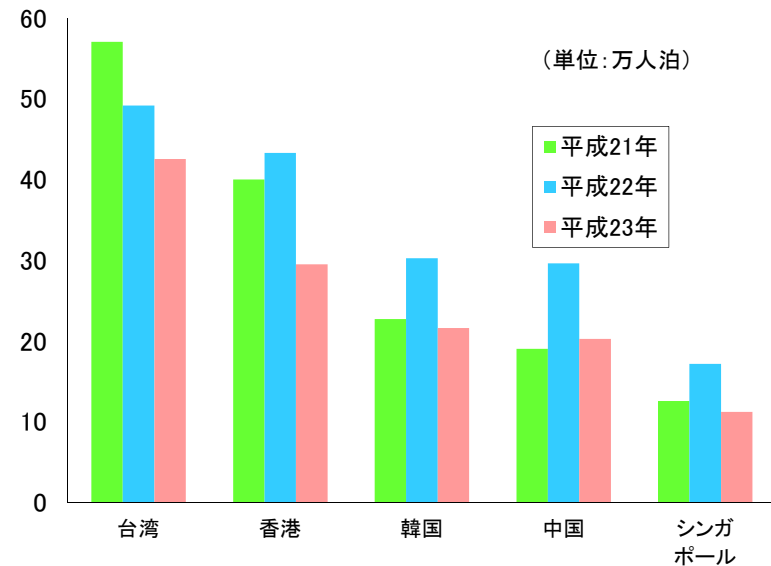
【北海道】



【全国】



北海道の国籍別延べ宿泊者数(上位5カ国)の推移

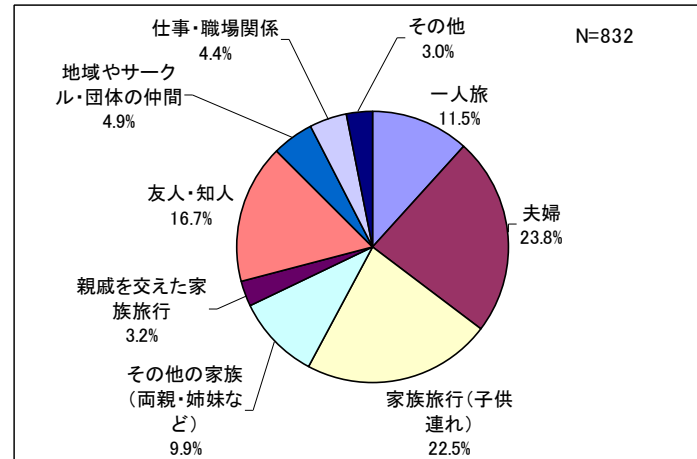


出典: 観光庁宿泊旅行統計調査

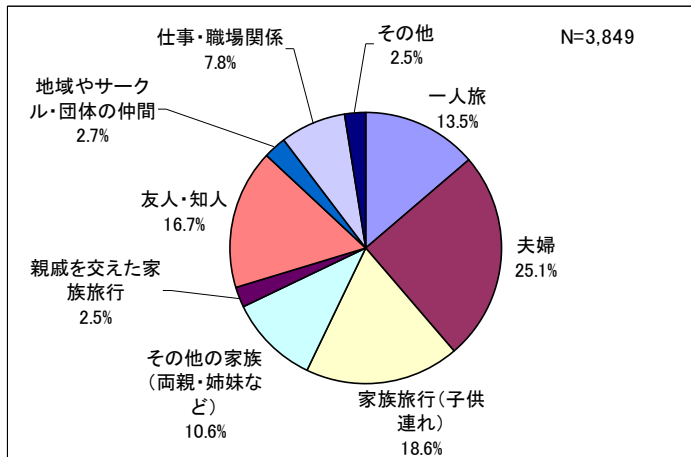
道外からの日本人来道観光客の旅行形態をみると、家族旅行が約5割超。団体旅行は年々減少し、約1割に過ぎない。* 団体旅行の数値は、「仕事・職場関係」と「地域やサークル・団体の仲間」を加えたもの。

- ・道内観光客は、「夫婦」が最も多く23.8%。次いで「家族旅行(子供連れ)」が22.5%。
- ・道外観光客は、「夫婦」が最も多く25.1%。次いで「家族旅行(子供連れ)」が18.6%。
- ・外国人観光客は、「夫婦」が最も多く23.0%。次いで「家族旅行(子供連れ)」が21.2%。

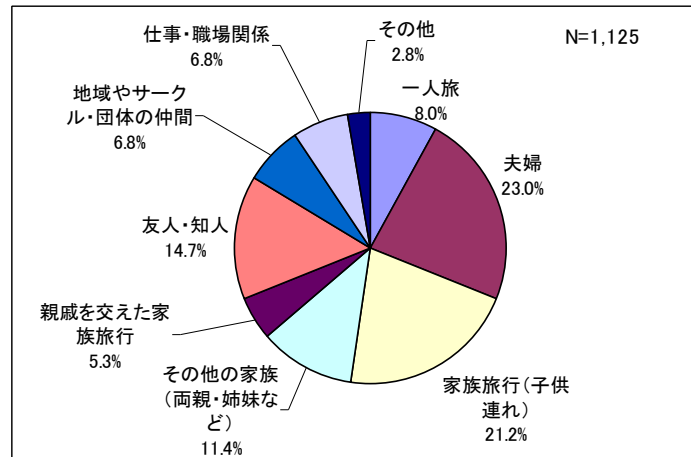
【道内観光客】



【道外観光客】



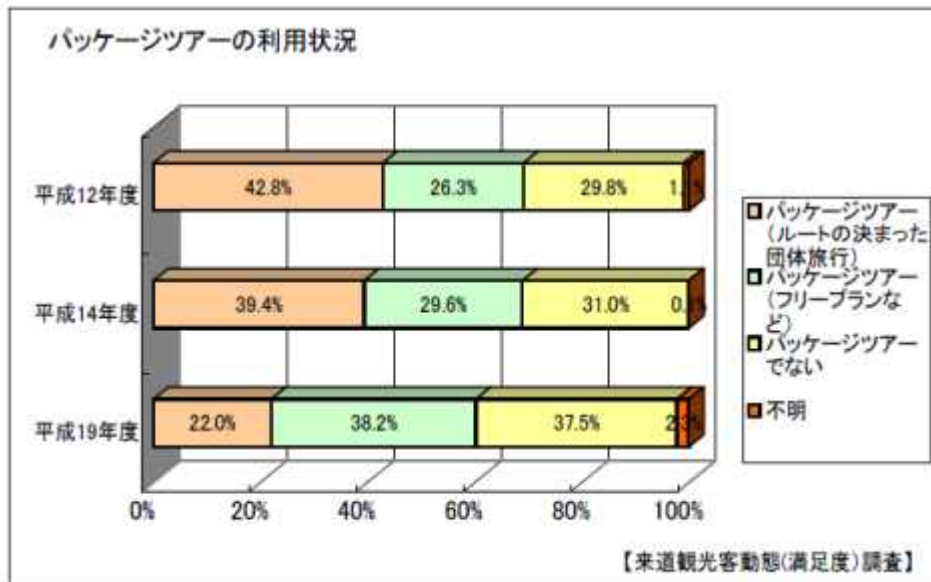
【外国人観光客】



北海道観光の基礎データ(旅行形態)

フルパッケージのツアー利用の割合は年々減少傾向で、約2割に過ぎない。

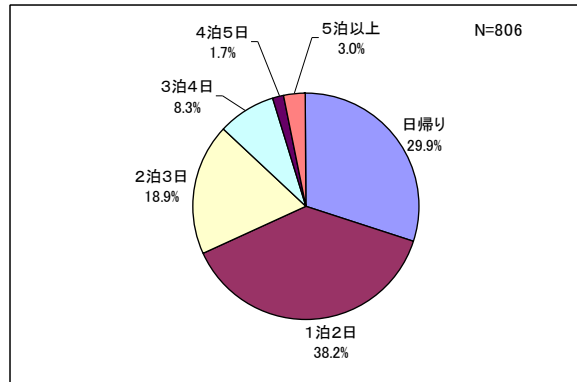
- パッケージツアー(ルートの決まった団体旅行)の利用状況(H19来道観光客動態・満足度調査)
H12年度:42.8% → H19年度:22%
その一方で、フリープラン等の利用が増加傾向



出典: 平成19年度 観光客動態・満足度調査

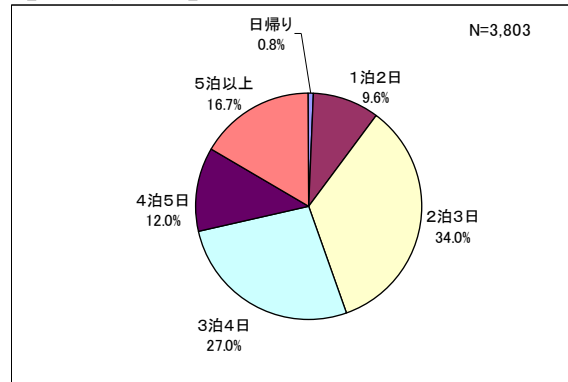
道外からの日本人来道観光客の旅行日程をみると、2泊3日が最も多く34%、次いで3泊4日が27%となっている。平成19年度調査と比較して、3泊以上の旅行日程の割合が増加、5泊以上は倍増の16.7%となっており、ロングステイの傾向がみられる。

【道内観光客】



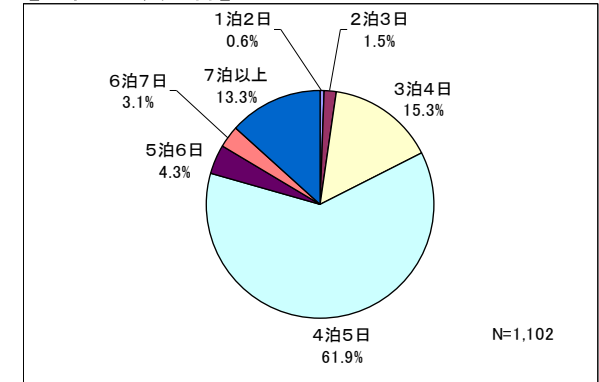
・道内観光客は、「1泊2日」が最も多く38.2%。次いで「日帰り」が29.9%。

【道外観光客】



・道外観光客は、「2泊3日」が最も多く34.0%。次いで「3泊4日」が27.0%。

【外国人観光客】

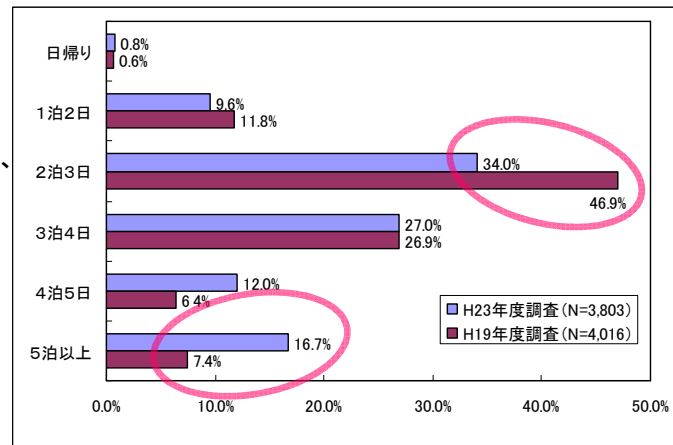


・外国人観光客は、「4泊5日」が最も多く61.9%。次いで「3泊4日」が15.3%。

〔H19調査との比較〕

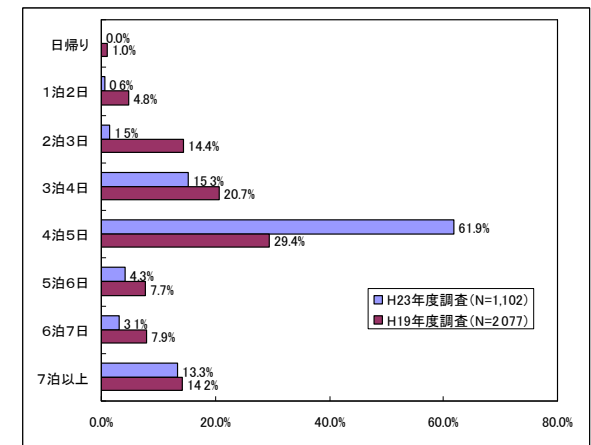
【道外観光客】

・道外観光客は、平成19年度と比較して、3泊以上が増加している一方で、1～2泊が減少している。



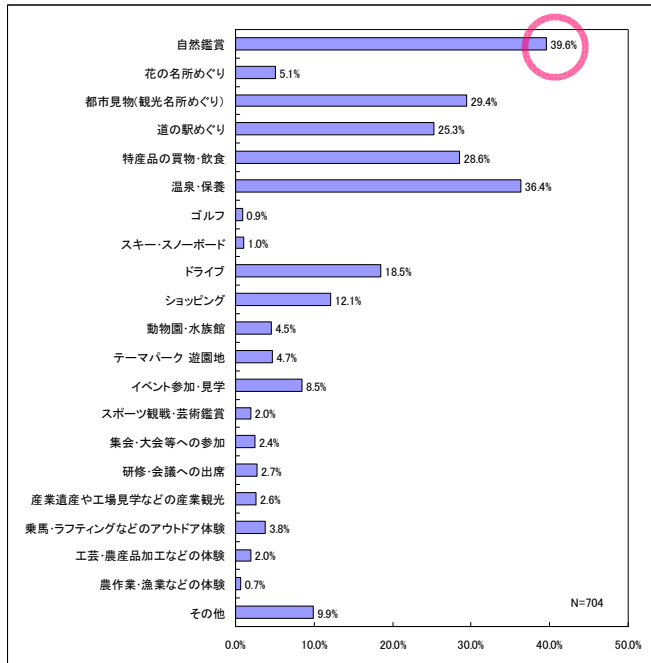
・外国人観光客は、平成19年度と比較して、4泊5日が増加しているが、それ以外の日程は、全て減少している。

【外国人観光客】



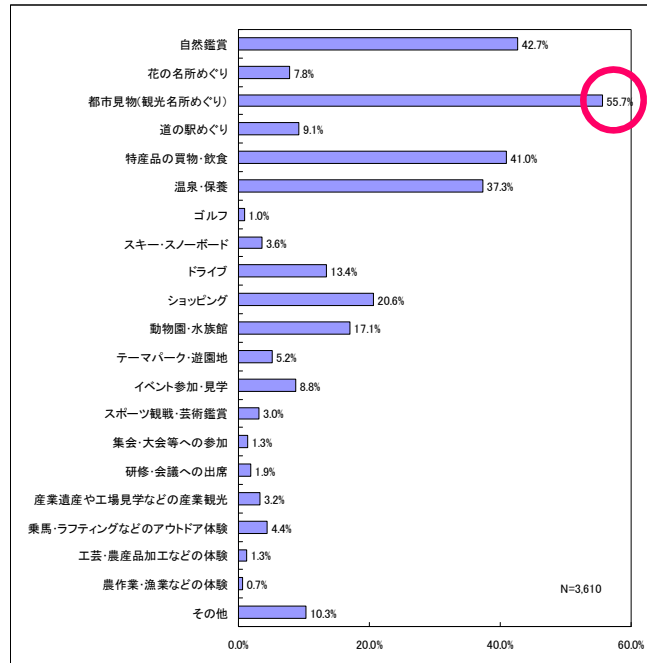
北海道への旅行目的をみると、「都市見物(観光名所めぐり)」、「自然鑑賞」、「買物・飲食」、「温泉・保養」が上位を占めている。

【道内観光客】



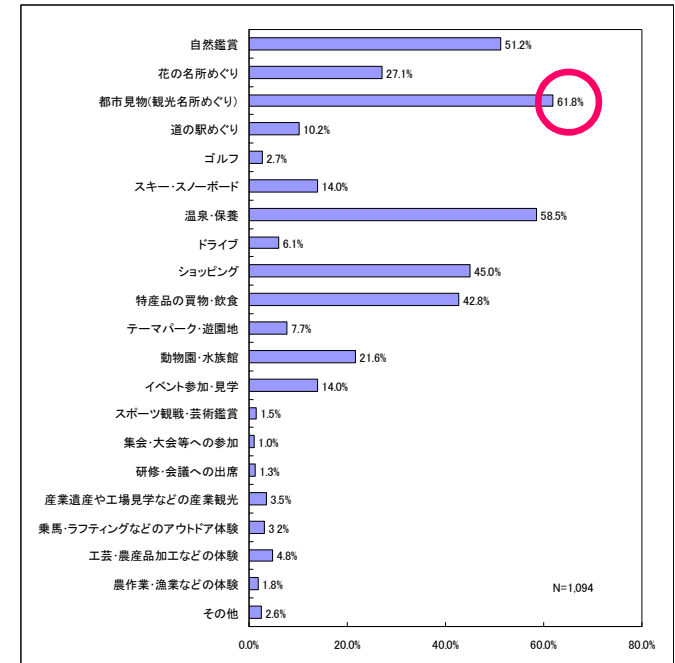
・道内観光客は、「自然鑑賞」が最も多く39.6%。次いで「温泉・保養」が36.4%、「都市見物(観光名所めぐり)」が29.4%、「特産品の買物・飲食」が28.6%、「道の駅めぐり」が25.3%。

【道外観光客】



・道外観光客は、「都市見物(観光名所めぐり)」が最も多く55.7%。次いで「自然鑑賞」が42.7%、「特産品の買物・飲食」が41.0%、「温泉・保養」が37.3%、「ショッピング」が20.6%。

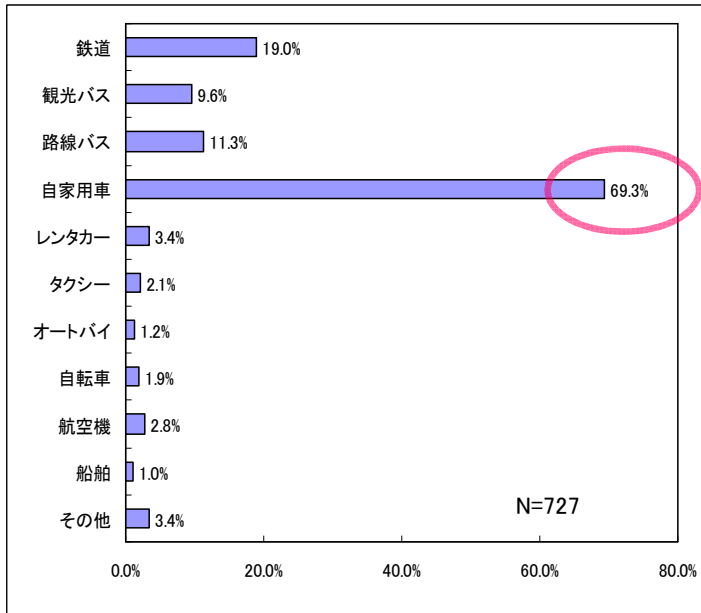
【外国人観光客】



・外国人観光客は、「都市見物(観光名所めぐり)」が最も多く61.8%。次いで「温泉・保養」が58.5%、「自然鑑賞」が51.2%、「ショッピング」が45.0%、「特産品の買物・飲食」が42.8%。

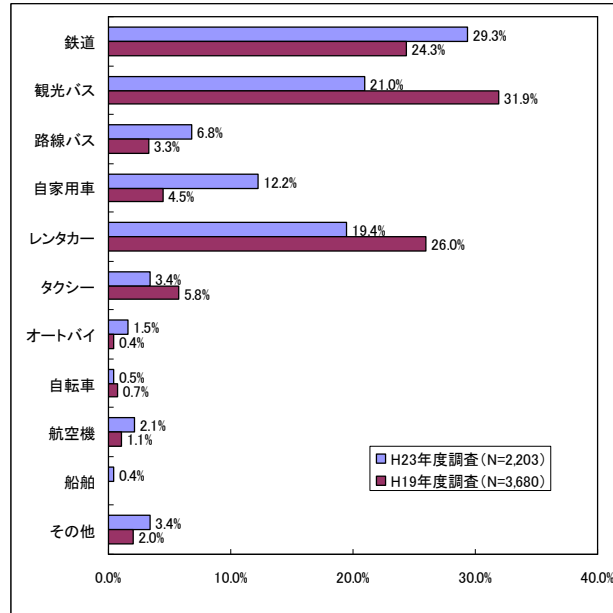
- ・道内観光客は圧倒的に自家用車での移動が多いのに対して、道外観光客は多様な移動交通手段を活用している。
- ・外国人観光客は、観光バスの利用が最も高いものの鉄道の利用も増えている。

【道内観光客】



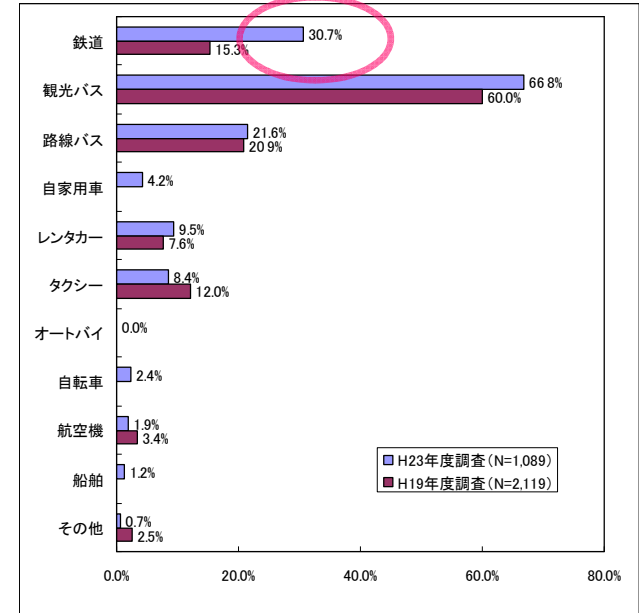
・道内観光客は、「自家用車」が最も多く69.3%。次いで「鉄道」が19.0%、「路線バス」が11.3%。

【道外観光客】 [平成19年度調査との比較]



・道外観光客は、平成19年度と比較して、鉄道や自家用車の利用が増加している一方で、観光バスやレンタカーの利用が減少している。

【外国人観光客】 [平成19年度調査との比較]

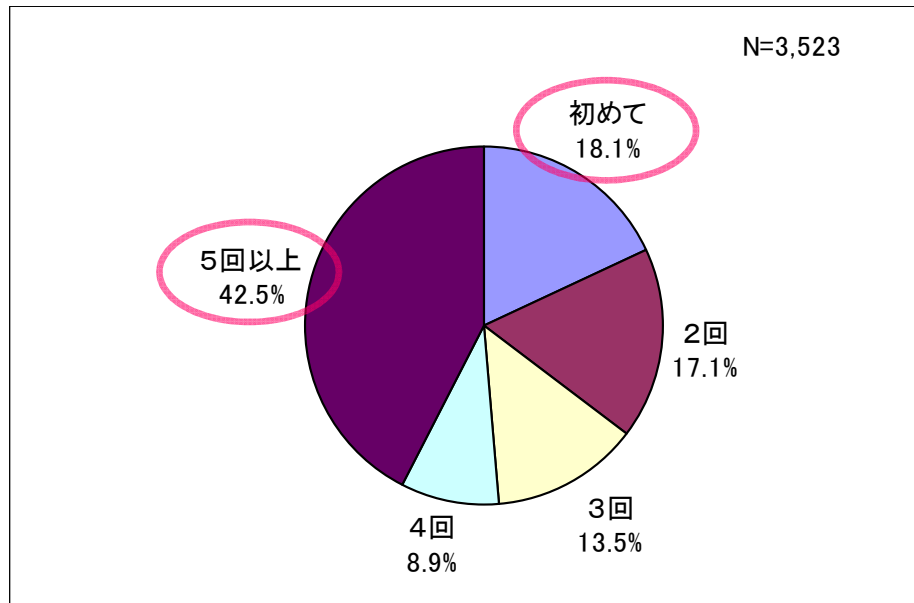


・外国人観光客は、平成19年度と同様に、【観光バス】の利用が66.8%と最も高く、次いで「鉄道」が30.7%と平成19年度より大きく伸びている。

出典：平成23年度 観光客動態・満足度調査

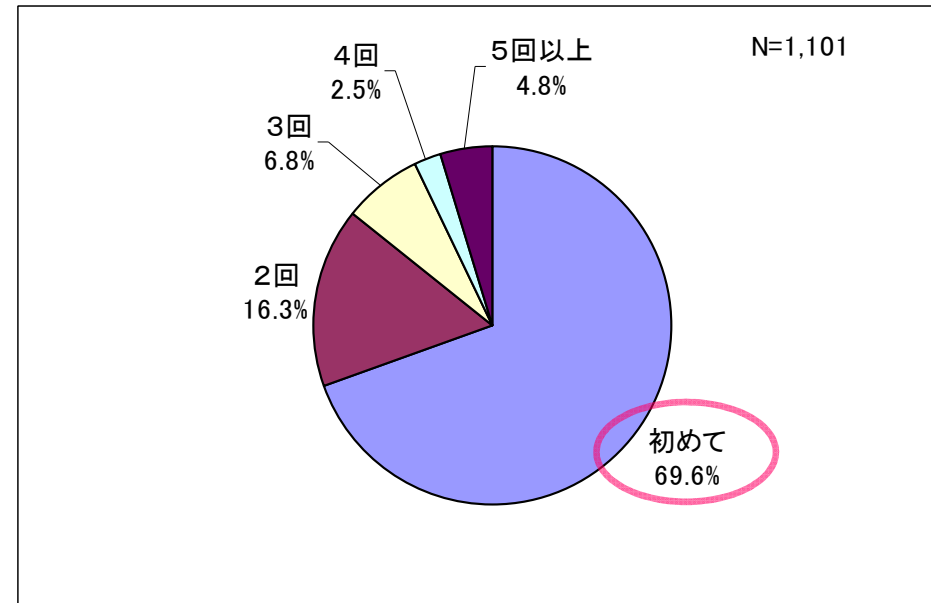
- 道外からの日本人来道観光客の8割がリピーター。来道経験5回以上のハードリピーターが4割超
- 外国人の来道者の約7割がはじめての来道者。来道経験5回以上のハードリピーターは約5%

【道外観光客】



・道外観光客は、「5回以上」が最も多く42.5%。次いで「初めて」が18.1%、「2回」が17.1%。

【外国人観光客】

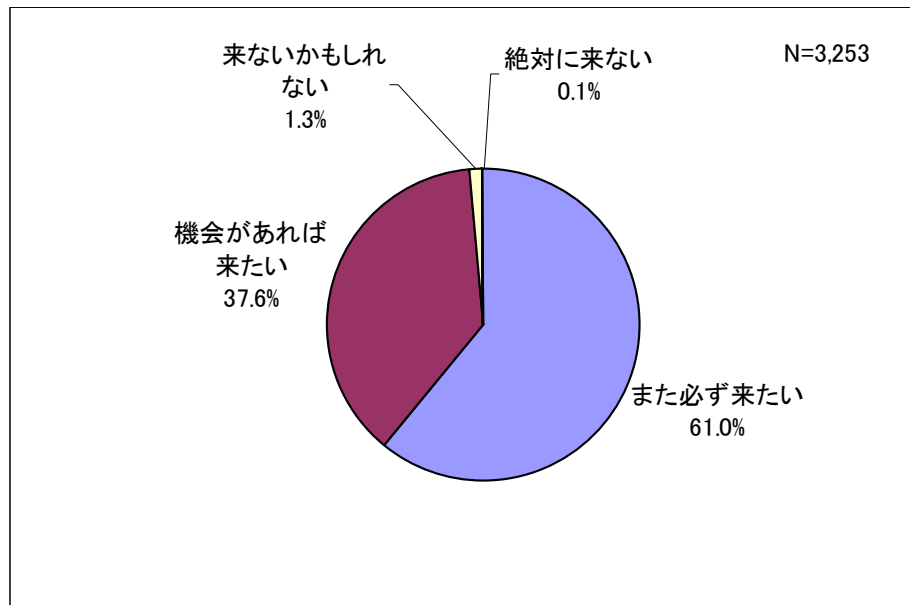


・外国人観光客は、「初めて」が最も多く69.6%。次いで「2回」が16.3%、「3回」が6.8%。

出典：平成23年度 観光客動態・満足度調査

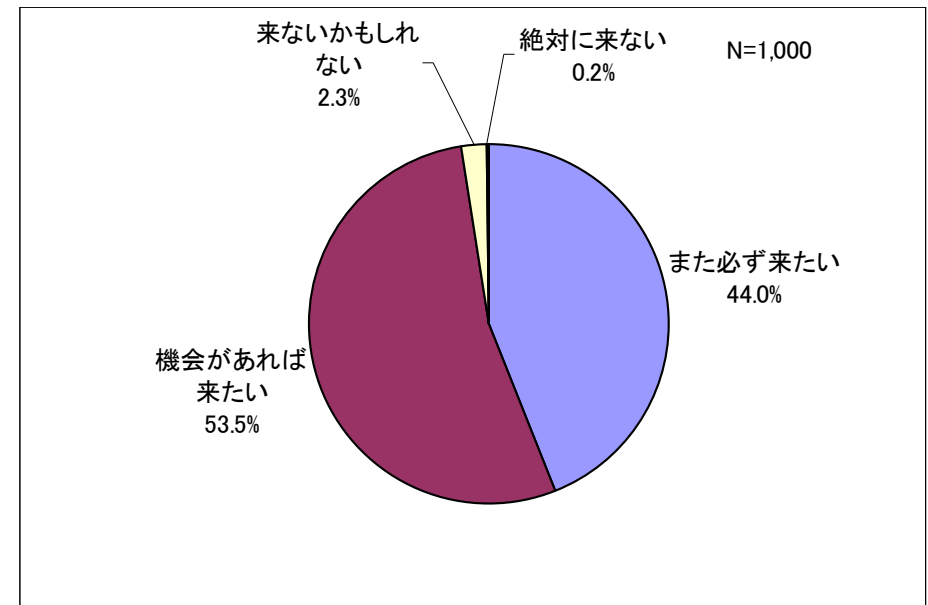
北海道への再来訪意向は、9割以上が将来的に来たいとの回答をしていることから、何らかの動機付けを行うことでリピーターへ繋がる可能性が高い。

【道外観光客】



・道外観光客は、「また必ず来たい」が最も多く61.0%。次いで「機会があれば来たい」が37.6%。

【外国人観光客】



・外国人観光客は、「機会があれば来たい」が最も多く53.5%。次いで「また必ず来たい」が44.0%。

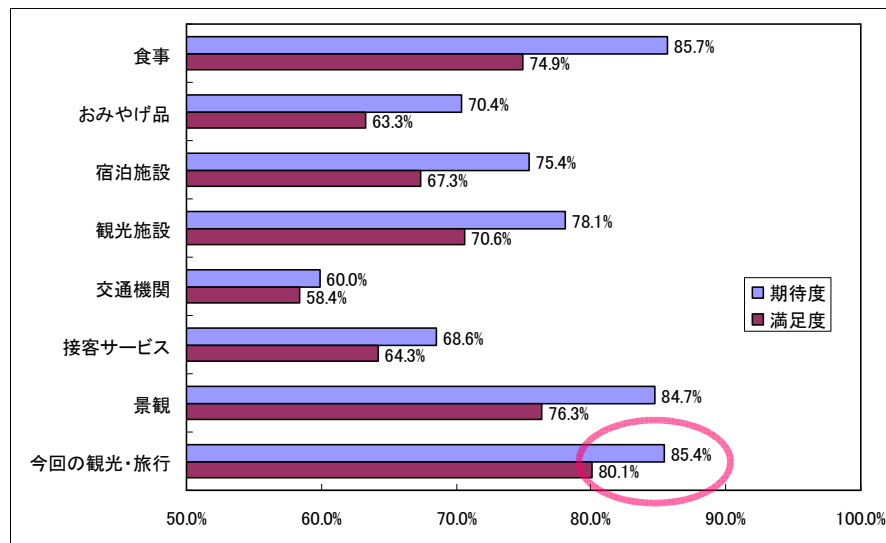
出典：平成23年度 観光客動態・満足度調査

北海道観光の基礎データ(国内観光客の満足度)

北海道への観光・旅行に対する満足度は、比較的高いものの、事前の期待度が高いことから、満足度が期待度を下回っている状況にある。

旅行全般における期待度と満足度の比較

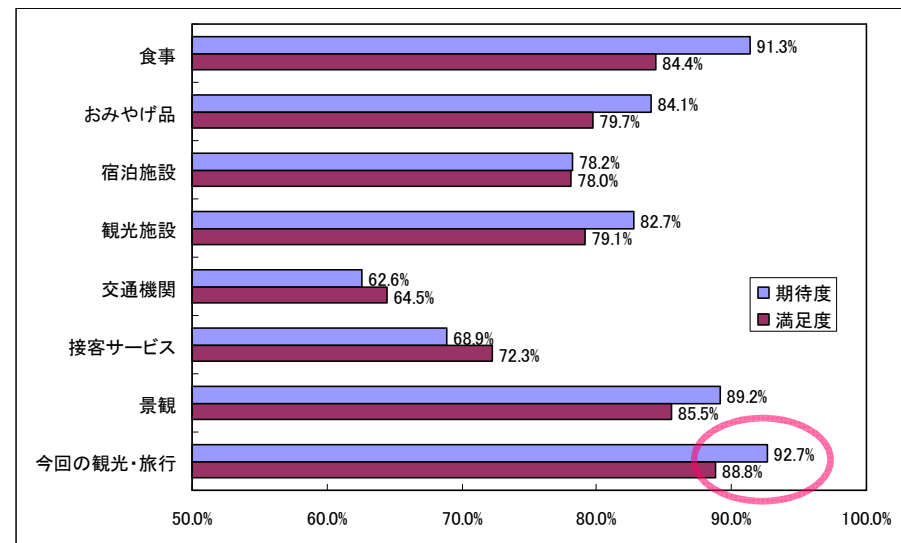
【道内観光客】



・道内観光客は、総合的な「今回の観光・旅行」に関する期待度が85.4%に対し、満足度が80.1%

・全ての項目において、満足度が期待度を下回った。

【道外観光客】



・道外観光客は、総合的な「今回の観光・旅行」に関する期待度が92.7%に対し、満足度が88.8%。

・「交通機関」と「接客サービス」は、満足度が期待度を上回った。

・その他は、満足度が期待度を下回った。

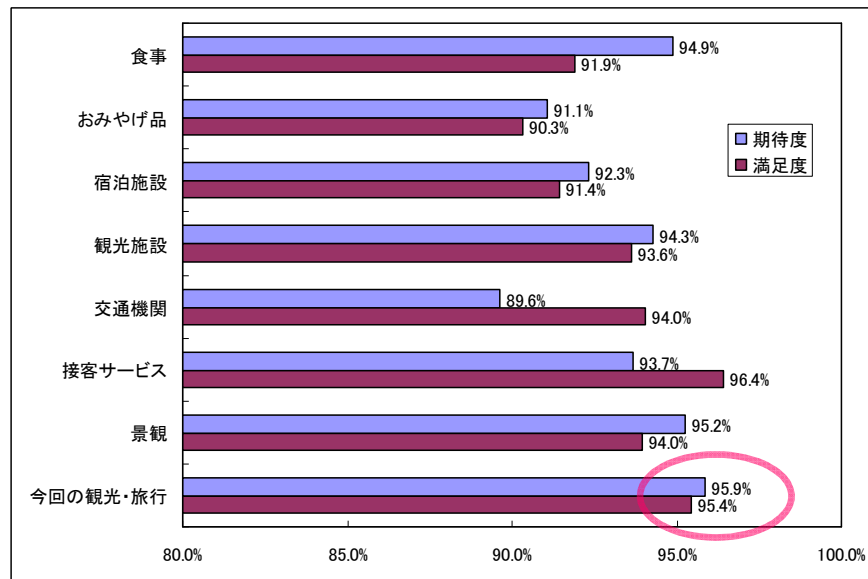
出典：平成23年度 観光客動態・満足度調査

北海道観光の基礎データ(外国人観光客の満足度)

北海道観光への満足度は95.4%と非常に高いものの、居住国・地域別では韓国人観光客の満足度が全体を下回っている状況にある。

旅行全般における期待度と満足度の比較

【外国人観光客】



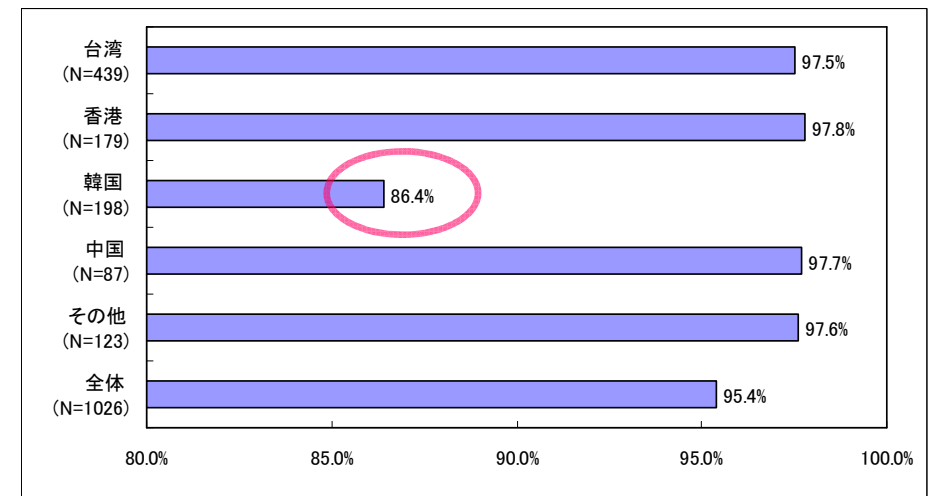
・外国人観光客は、総合的な「今回の観光・旅行」に関する期待度が95.9%に対し、満足度が95.4%。

・「交通機関」と「接客サービス」は、満足度が期待度を上回った。

・その他は、満足度が期待度を下回った。

今回の観光・旅行(総合)への満足度の比較

【外国人観光客:居住国・地域別】



・外国人観光客の居住国・地域別の満足度は、「香港」が97.8%、「中国」が97.7%、「台湾」が97.5%と僅差で続いている。

出典：平成23年度 観光客動態・満足度調査